

## 第6回 市民プロジェクト

開催日時	平成25年11月21日（木）午後7時05分～午後9時15分	
会場	北区白新町2丁目 長岡屋 2Fホール	
参加者	メンバー	小日向、中村（克）、吉田、長谷川、 青木、渡部、村山、横山（菊）、船山、松井、五十嵐（智）、相沢 五十嵐（信）、豊崎、尾崎、入山（敬称略） 太字は女性 計 16名
	事務局等	豊栄駅前通商店街振興組合 1名 事務局チーム 3名 計 4名
内容	<p><b>1 開会（午後7時05分）</b></p> <p><b>2 オリエンテーション</b></p> <p>・資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回市民プロジェクトまとめ</li> <li>・今後のスケジュール</li> <li>・添付資料（中央区介護施設情報、見附市入浴施設情報 等）</li> </ul> <p>（事務局）1. 本日午後、自治協議会産業振興部会にて第5回までの経過報告及び第6回の検討の進め方等について報告を行い、質疑応答を実施してきた。</p> <p>昨年の自治協議会が示した要請書と現在進行中の市民プロジェクトの進行状況との整合性に疑問があるとの意見も出されたが、市民プロジェクトの立場や情報と、自治協議会の立場や持っている情報量には差があるので、取舍選択や優先順位付けについては部会及び自治協議会全体での議論を尊重する旨答弁をし、了承いただいたという報告を行った。</p> <p>2. 特に、区役所機能をA案として議論を進めているようだが、「移転新築」という表現からは相容れない案なのではないか？という認識で捉えている。市民プロジェクトとしては、「区役所機能」を推すチームにはその論拠や期待する効果という点を明確にするように問いかけている。「区役所機能」を超えるような具体案が見えていないというのも一因かと思われる。</p> <p>3. 見附市の例を添付資料としたが、将来の北区、葛塚地区にとって必要なものであれば市民プロジェクトとして要求していくという姿勢で検討を進めて欲しい。また有益な情報があれば参加者からも提供して欲しい。</p> <p>4. スケジュールを見ると、それほど余裕は無いように思われる。</p> <p>12月12日に予定されている懇親会をきっかけにして、第7回第8回の市民プロジェクトにおいて具体案の精度を上げていきたいと考えています。</p> <p>5. 昨日東区の区役所移転の経緯を確認するために東区で話を聞いた。</p> <p>「山ノ下まちづくりセンター」として区役所があった時と遜色ない利用を促進しつつ「まちづくり活動」を推進できる体制となり、不満は無いとの回答をいただいて来た。</p>	

## 2 グループ別ワークショップ

- (事務局) 1. 第5回まとめで示したように、今回も3つのグループで討議します。
2. Aグループは「区役所機能」を中心としたグループ  
Bグループは「広場集会施設機能」を中心としたグループ  
Cグループは「住宅政策機能」を検討するグループ
3. 参加者は自分が担当したいグループで議論を深めてください。
4. グループ毎に、ワークシートを参考にして背景・目的・計画概要・効果・手法等について議論して整理を進めてください。今回はできるだけ図面に示す方法でわかりやすく表示するつもりで進めてください。
5. 今回もグループ別発表の後、質疑応答等を行います。他グループ提案への突っ込みなどもやってみたいと思います。

### <テーマ>

「区役所本館跡地には何が相応しのか？」

※第5回市民プロジェクトまとめを参考にして、具体案を図に示してみよう！

別図1～3 参照

グループ別発表（発表者：C 渡部、A 五十嵐、B 豊崎・尾崎）

#### Cグループ（発表：渡部）

- ・ 中心市街地に住む人を増やすという点を最大の目的として検討した。  
高齢者住宅（ケアハウス）を中心とした街なか居住施設を建設するとともに、新館には介護支援施設等を配置し、安心して住まう中心部を作りたい。また、2F以上は住宅施設とするが、1Fについては商業ゾーンとして利用するという手もあり得る。
- ・ 現在の敷地だけでは不十分なので、前面は県道まで、後面は上大口通りまでという面積で検討する必要がある。そうすれば、前面道路沿いは「シェアハウス」というゾーンとし若年層も含めた街なか居住人口増が見込めるのではないか。
- ・ 高齢者住宅及び若年層の受け皿としてのシェアハウスを併設することで、地域による介護支援体制の整備を始めとする新たな地域のつながりの構築が始められるメリットは大きい。また、1F部分については商業スペースとなることから、中心部の不足業種の導入や若年層によるチャレンジショップなどの精度利用が可能となる。

#### Aグループ（発表：五十嵐）

- ・ 既存の敷地で「本館」の敷地にできる範囲で「区役所」を建設したい。  
支所レベルの窓口業務だけではなく、総合的な区役所機能を望んでいる。  
旧新潟市役所、長岡市の移転等、中心部から離れた場所での区役所建設については、中心部における衰退の影響が大きく、現在の場所の機能が高められれば、何ら移転する必要性は無いと判断する。駐車場等の問題をクリアすれば済む問題であるという認識だ。  
展望ホールやヘリポート等も完備して「津波対策」ができる防災拠点として地域住民に安心を与える建物として機能させたい。
- ・ 現在地において6～8F建ての「区役所」を建設すれば、十分に間に合う。  
将来的に職員数が減少すれば、空いた階には住宅を誘致できる。

☆質疑

Q: どうしてもこの場所に本格的な「区役所」を残したい本当の理由は何か？

A: 未だに「移転」という理由がわからない。ここでなければならぬ理由よりも、ここじゃ駄目な理由のほうが曖昧である。移転先について論議しているわけではない。

Q: 区役所の窓口機能（市民課、健康福祉課、税務課等）を残すという選択肢は無いか？

A: あくまでも「移転」の正当な理由がわからないので、本格的な区役所が当然である。

**Bグループ（発表：豊崎、尾崎）**

B-1・上大口通りの標高が高いので、その高さで現在の敷地を土盛りして新館周辺から県道までデッキ状態として整備し、正面側は屋根がかかった場所として市場やイベント等に活用できるスペースを作る。新館にはサテライトキャンパス。学生と企業の連携を促進する機能。芝生などの広場機能で、防災避難機能を持たせる。

B-2・本館跡地には新たな建物を建設し、大学施設として利用する。学生が学ぶ機能と共に住民が世代間交流を促進するための学校機能も含む。また、学生によるチャレンジショップとして地元農産物を使ったレストラン等の商業サービス施設も検討する。

☆質疑

Q: 広場集会施設機能があれば、区役所窓口機能はどうするのか？

A: JR 豊栄駅を中心とした範囲に区役所があれば、窓口機能も不要と考える。

また、将来的に区役所コンシェルジュが一人居れば、全ての窓口業務をこなせるようになるはずなので、敢えて窓口業務は必要無くなるだろう。

(事務局)

- ・ 今回の各グループの整理とラフ図面を基に、第 3 回検討委員会への中間報告②を整理して報告したいと思います。
- ・ 公開シンポジウムへの提案事項としてはまだまだ精度が低いと思われませんが、検討委員会からのアドバイスを受けて、第 7～8 回の市民プロジェクトにおいてシンポジウムに耐え得る精度をもった提案に仕上げてゆく予定です。

**3 今後の予定について**

★市民プロジェクト懇親会

日時：平成 25 年 12 月 12 日（木）午後 7 時～9 時

会場：白新町 2 丁目 長岡屋 2 F 会費：2,000 円

★第 7 回市民プロジェクト

日時：平成 25 年 12 月 19 日（木）午後 7 時～9 時

会場：白新町 2 丁目 長岡屋 2 F

**4 閉会（午後 9 時 10 分）**